

# 戸山

新宿区立 戸山小学校

## 相手の気持ちを考える

副校長 矢島 直子

先日は、第1学期保護者会に多数の皆様にご参加いただきありがとうございました。新型コロナウイルスの感染予防をしながらではありますが、学校のできる最大限の教育を継続していく所存です。引き続きご協力をお願いいたします。

昨年の今頃は、ちょうど休校期間の真最中でした。校舎の中はととても静かで、巡視するのが寂しかったことを思い出します。しかし、今年度のスタートは違います。元気な声が響き渡る学校には活気のみなぎっています。学び多く、楽しい1年になることを期待しています。

さて、私は小学校2年生の時から約20年間、剣道をしていました。皆さんは「剣道」と聞いてどんなことをイメージしますか？ 多くの方は「大きな声を出しながら棒で叩き合っている」イメージではないでしょうか。実は剣道の試合では「静」の時間が多のです。動きを止め、じっと相手の目を見つめ、相手の息づかいや目つきから、相手が次の瞬間どのような動きをするのかを考え、予想し、自分の次の一手に繋がります。

### 「相手の気持ちを読み、自分の行動につなげる」

剣道では試合に勝つためのスキルではありますが、すべての社会で通じる行動ではないでしょうか。

相手が何を考えているのか、どのような気持ちでいるのかを理解した上で、自分の行動に移せるようになることは、大人の社会においても、とても大切なことです。それらができる大人へと子ども達を導くことが、私たちの役割だと考えます。子ども達にとっては難しい課題ですが、学校という集団生活の中で、相手の気持ちを理解しようとする心を養い、育てていきたいと思っています。

## コロナ禍が教えてくれたこと

生活指導主任 松田 麻里

今年度、生活指導主任となりました松田です。戸山小8年目です。7年間戸山小の移り変わりを見てきました。私たちの人生も、7年間といえいろいろなことがあります。戸山小もこの7年間の中で、大なり小なりさまざまなことがありました。しかしながら、現在のコロナ禍での学校の変容ほど大きな出来事はありません。そんな中、東京で、3回目の緊急事態宣言発令となりました。個人が多少の我慢をし、一致団結しなければ、この危機を乗り切ることはできないと言われていました。学校という社会も同じだと思います。皆で協力し、一致団結することが大事だと思います。今までの2回の緊急事態宣言と自粛生活を通して、子どもにとって、学校や社会が安心安全であることは望ましいことではありますが、大切なのは、他の何よりも家庭が一番の安全基地であることだと思いました。お家で疲れた心と体を癒しながら、家族の絆を強め、学校でしか学べないことを楽しみに毎日登校してくる子ども達を全力で支援していきたいと思っています。ご理解ご協力をよろしくをお願いいたします。

## 体力づくりについて

体育主任

暖かく、過ごしやすい日々が続くようになりました。5月は体を動かすにも、適した時期でもあります。例年、戸山小学校では、日々の体育科の学習だけではなく、運動会や新体力テスト、長なわ旬間などに取り組み、子どもたちの「体力づくり」に励みます。今年度も、昨年度同様さまざまな制限がありますが、中でも、可能な限り体育活動を通して体力づくりに取り組んでいきたいと思っています。

小学生の体力づくりは、単に運動をすることで心肺機能や筋力を向上させるだけではありません。さまざまな動きを経験することによって、体をイメージ通りに動かす能力(巧緻性)を身に付けることが大切です。特に低学年では鉄棒やマット、体づくり運動などで身体操作のイメージをつかみ、中学年以降に経験するさまざまな運動に繋がっていきます。

新年度が始まって1ヶ月。運動に親しみ楽しく取り組み、たくましく、そして豊かな心をもった子どもが育つように、教育活動に取り組んで参ります。